

巳 午

～ みんな ～

《みんなとは》

『みんな』とは、瀬戸内地方に古くから伝えられている慣習で、その年に亡くなった故人さまのお正月として、12月の最初の『巳の日』に近親者が集まり、新仏さまを供養する行事です。地域によっては『巳正月（みしょうがつ）』や『みうま』ともいわれます。

《みんなの由来とは》

由来には諸説ありますが、次のような説が代表的です。

【由来その①】◇戦国時代、高縄半島を中心に活動していた武士たちが、出陣の際、生きて祝えないかもしれないお正月を、ひと足早く12月の巳の日に祝ったという戦国武家の習わしに由来しているという説。

【由来その②】◇豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄・慶長の役）の帰途、現在の松山市高浜町の海岸で討死した兵士を弔うために、餅をついてそれを朝鮮半島に向けて供え、その後、皆で竹に餅を刺して食べたことが慣習となって残っているという説。



今年のみんま

12月6日(火) ・ 12月18日(日) ・ 12月30日(金)で

《みんなってどうする？》

みんなの作法・準備物は、地域によって若干の異なりがありますが、一般的な方法は以下のとおりです。

▶ 準備するもの

準備①	みんな用しめ飾り	2組	(自宅祭壇用とお墓参り用 山草2枚とお飾り用みかん2個含む)
準備②	杖・草履	1組	(自宅祭壇にお供えした後、お墓に持っていく)
準備③	山草(餅飾り用)	2枚	(自宅祭壇用とお墓参り用)
準備④	お飾り用みかん	2個	(自宅祭壇用とお墓参り用)
準備⑤	みんな餅(大小各1個) (もしくは平餅)	1組	(大:自宅祭壇用 小:お墓参り用)
準備⑥	御霊供膳	1膳	(汁椀は小餅を入れてお雑煮にする)
準備⑦	三宝(さんぼう)	1個	(⑤のお餅を、自宅祭壇またはお墓でお供えする際に使う)
準備⑧	櫛花(しきみ)	1対	(お墓参り用)

▶ おこない方

- 手順① : 自宅に法事用の祭壇を設営し、お位牌をお祀りします。
※お飾り例参照 祭壇に『お餅(大)』『みんな用しめ飾り』『杖・草履』『御霊供膳(汁椀はお雑煮に)』、その他、果物やお菓子などをお供えして、出席者でお参りします。
- 手順② : お墓を掃除し、『お餅(小)』『みんな用しめ飾り』『杖・草履』を飾り、お参りします。
- 手順③ : その後、『みんな用しめ飾り』『杖・草履』を燃やし、その火で『お餅(小)』を焼き、出席者で引っぱりながらちぎって食べます。
(包丁で切って、肩越しにお餅を渡し、食べる場所もあります)
- 手順④ : お墓参り後、参加者を飲食でもてなしたり、引き物を差し上げたりします。
※別紙資料をご参照ください

※法事用祭壇を設営しない場合、お仏壇にお飾りして行うこともあります。

※墓地がない場合、玄関先で行うことがあります。

また近年では墓地でせず、自宅に持ち帰り行うケースもあるようです。

【お飾り例参照】

※寺院様をお招きする必要はありません。(一部地域においては寺院様がお参りすることがあります。)

※また一部宗旨においては、みんなを行わないことがあります。

※みんなに招かれた際のお包みは「御仏前」を表書きにします。(「お年玉」と書くケースもあります。)